

事業計画

I. 基本方針

我が国経済は、米中貿易摩擦の長期化に加え、地政学リスクの高い状態が続き、加えて英国のEU離脱による混迷など世界経済の先行の不透明感が日本経済の業績に波及し始めていた中、新型コロナウイルスの感染拡大はパンデミックとなり、社会経済活動に大きな影響を及ぼし、景気悪化への懸念が広がっている。

中小企業を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症の影響による急激な経済の減速感に加え、年々深刻化している人手不足や賃金上昇、経営者の高齢化等による事業承継問題など、依然として多くの課題も残されている。

当地域においても、新型コロナウイルス感染症による影響はもとより、中小・小規模事業者にとって喫緊の課題である「人材の確保・定着」や「生産性の向上」、更には「福山駅前を中心とする中心市街地の再生・活性化」、「幹線道路網や港湾の整備促進」、「産業・流通団地の整備促進」、「福山城築城400年に向けた機運の醸成」、「コンベンション機能の強化・推進」等、福山市が備後の中核都市として持続的発展を遂げていくために欠かせない事項が山積している。

こうした中「中小企業の活力強化」、「地域の活性化」という二つの使命・役割を担う福山商工会議所においては、今日の社会経済情勢や当地域の状況を踏まえながら、つぎの事項に資する取り組みを令和2年度主要事業として位置付けるものである。

- I 地域活性化の観点や会員事業所との対話を踏まえた政策提言・要望
- II 新型コロナウイルス感染症に関する経営相談・支援の強化
- III 中小・小規模企業の経営力強化と事業者BCPの策定支援
- IV 人手不足への対応と生産性の向上及び働き方改革の推進
- V 中心市街地の再生・活性化
- VI 地域資源を活用した地方創生の促進
- VII 持続可能な商工会議所の構築に向けた組織運営とあり方の検討

これらの取り組みに当たっては、産・学・官及び他地域との有機的な連携、会員の生の声、相談者の掘り起こし、各部会・委員会の活性化などに留意しながら、当事業計画の着実な推進に努め、「信頼される商工会議所」、「なくてはならない商工会議所」の実現をめざしていく。